

「経験と知識の融合」から形成されるキャリア

2005（平成 17）年卒業 平子 知明

私は 2005 年 3 月に商大を卒業し、自動車会社に入社しました。入社後、OFF-JT の機会として語学研修や節目での集合研修は受講しましたが、OJT 中心でのスキルアップを図ってきました。同じ部門に所属していた 9 年間、私はキャリアアップできているか疑問を抱いていました。

入社 10 年目。全く異なる部門の業務に関わることとなりました。その部門においては 1 年生。業務の一つ一つがわからないことだらけであり、基礎的な業務を覚えることにも苦労しました。一方で、私が入社してから担当していた業務をバックグラウンドに持つ担当者はその部門にほとんどいませんでした。そこで、新たな視点での業務改善を図ることもできました。疑問に感じながら業務に取り組んだ 9 年間の経験が活きたと感じました。

入社 15 年目となった現在。新しい役割を担っており、その 9 年間の経験を土台として業務にチャレンジしています。

☆ ☆ ☆

私は 20 代の頃、座学で学び、知識を増やすことがキャリア形成における最も大切なことだと感じていました。しかし、30 代半ばとなった今、経験と知識の融合によってキャリアは形成されるものだと感じています。

2019 年 3 月に私は社会人大学院を修了しました。（注）その学びを経たから、キャリア形成においては経験と知識の融合が重要であるという考えを強くしています。そして、私のキャリアにおいて、疑問を抱きながらも地道に業務に取り組んだ 9 年間の経験がこれからも土台となると確信しています。

今後も多くの経験が蓄積されるものと思います。また、学びも継続していきます。経験と知識の両方を増やし、更なるキャリアアップを図りたいと考えています。

（注）大学院通学については、2020 年 2 月発行予定の会報「緑丘」第 127 号『緑丘 U-30』に掲載されます。

「リレー投稿」寄稿者などの“ライター”を募集しております。
協力いただける方は以下のメールアドレスまでご連絡ください。

緑丘会 SNS 事務局 info.ryokkyukaisns@gmail.com